

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内
 TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354
 西日本支部：〒651-2239 兵庫県神戸市西区櫛谷町松木234番地
 川崎重工業(株) 精密機械・ロボットカンパニー 企画本部内
 TEL. 078 (991) 1133 FAX. 078 (991) 3186

JETRO インド・ベンガルール駐在 夏見様のご講演 (中小企業委員会 WG 主催)

中小企業委員会WGの委員会を2月21日(月)に開催いたしました。通常WGは関係企業の会社訪問を行い、中小企業委員会への勉強会に繋げるものですが今回はコロナ感染による影響のためWebによる開催としました。勉強会については、現状のインドの状況をテーマにして、Webを利用してリアルタイムにてJETRO インド事務所(ベンガルール)駐在の経済産業省の夏見様に講演会『インドの最新概況(経済編, 生活編)』をしていただきました。夏見様は、昨年7月まで日本で経済産業省産業機械課に在籍され、当工業会のサポートもしていただいております。



主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

JETRO 夏見様ご講演 1	工業会ニュース 6
委員会開催・活動状況	今後の主要行事予定 7
標準化事業 3	月間行事概要 8
技術調査事業 4	統計資料 10
中小企業関連事業 6	

(一社) 日本フルードパワー工業会
 URL : <http://www.jfpa.biz/>

また、講演会の終了後、現在のインドの状況について委員メンバーより各種の質問が行われ、細かく回答をいただき、現在のインドの状況がよく判る勉強会となりました。

講演会及び質疑応答につきましては、当工業会の全会員が視聴可能として案内させていただき、総勢51名の方に視聴いただき、中小企業委員会以外の会員の皆様にも現状のインドの状況を把握いただけたのではないかと考えております。

なお、今回の講演会とその後の質疑応答につきましては動画撮影を行っており、当工業会のHP(会員サイト)で開示しております。視聴できなかった方は、ぜひHP(会員サイト)より視聴してください。

講演会の各項目及び質問事項は以下の通りです。

★インドの最新概況(経済編)

1. インドの経済概況

- 1-1. インドの基礎概況
- 1-2. 人口は世界1位に
- 1-3. GDPは世界3位に
- 1-4. 実質GDP成長率はコロナで急落後に回復基調
- 1-5. 所得水準は日本の1970年代初頭と同程度
- 1-6. 地域によって異なる経済水準
- 1-7. 中間層の増大が今後経済成長のカギ
- 1-8. インドにおける新型コロナを巡る状況

2. インドにおける近年の政策

- 2-1. ビジネス環境改善を図るモディ政権
- 2-2. 軸は製造振興策『メイク・イン・インド』
- 2-3. 中長期にグリーン社会を目指すモディ政権
- 2-4. 『ユニコーンの年』となった2021年
- 2-5. 電気自動車(EV)政策
- 2-6. 新型コロナ禍で存在感を増すインド発スタートアップ

3. 日系企業の動向

- 3-1. 在インド日系企業:1445社
- 3-2. 在インド日系企業の地域分布
- 3-3. 日系企業は自動車関連が多いが、進出業種は多様化
- 3-4. 自動車販売台数は回復傾向
今後は地方での需要に期待
- 3-5. 乗用車販売ではマルチスズキが半数のシェア
- 3-6. 小売外食分野でも進出が進む
- 3-7. 食品販売ビジネスを展開する日本企業
- 3-8. 日系企業によるインドでの動きⅠ～Ⅲ
- 3-9. 日本の中堅、中小企業による参入事例

4. インド開拓を考える上での留意点

- 4-1. 販売開拓の足掛り
- 4-2. パートナー候補を決める際の留意点

4-3. 商習慣・文化への理解

4-4. 総括

★インドの最新概況(生活編)

1. カルナータ州

1-1. カルナータ州の一般概況

★各種質問

- ・2025～2030年頃には、世界人口の1位が中国からインドに変わっていくと聞いておりますが、インドの油圧市場は今後どのように発展していくと思われるでしょうか。
- ・インドの有名な産業は何ですか。
- ・オミクロン株の蔓延による企業活動への影響
- ・自動車産業の生産状況
- ・インドの製造状況はどのような状況ですか？
- ・昨年と比べて油圧機器業界において人件費が上がっている事や部材が入らない事はありますか。
- ・インドでのコロナウイルス感染症は拡散が爆発的な印象があります。生活の変化や現地の方の衛生意識(マスク、消毒など)はどのような感じでしょうか。
- ・現在もカースト制度の差別があるのでしょうか。また、身分によって職業の制限などありますか。
- ・弊社製品のインドユーザーからスペアパーツの引き合いがあり、インドの代理店である Trading Company(商社)を紹介するケースがあります。以前、インド国外から物品を輸入する際、Trading Company(商社)と製造者では適用される税率(税制?)が異なるというようなことを、聞いたことがあります。このような制度が実際にあるのか、また現在もあるのかお教えいただければ幸いです。
- ・インドの人口が中国を抜くとの予測がありますが、それは本当でしょうか。本当であればいつ頃でしょうか。
- ・インドでのごみ問題はどのような感じでしょうか。SDG's に関しても日本とどちらが進んでいますでしょうか。
- ・インドのフルードパワー市場において、中国製品はどのくらい浸透していますでしょうか。

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

### 標準化事業

~~~~~

空気圧制御技術分科会

日時 2月1日(火)、13:30~16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 渡辺主査以下2名(うちリモート:2)

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO 国際会議について情報共有した。

次いで、空気圧機器と上位機器とのインターフェースに関する用語の制定について、原案に転記した各用語の定義を確認すると共に必要箇所を修正した。

次回開催：5月18日、機械振興会館+リモート

油圧フィルタ・作動油分科会

日時 2月3日(木)、13:30~16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 難波主査以下6名(うちリモート:6)

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO/SR_12829：定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO/FDIS_16889：FDIS 投票→賛成、ISO/WGC_23369：FDIS への移行可否投票→賛成、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。

次いで、昨年12/9開催のISO/TC131/SC6/WG1 国際会議の報告があり、情報共有した。

次いで、JIS_B9933(油圧-作動油-固体微粒子に関する汚染度のコード表示)の改正について、対応国際規格(ISO_4406:2021)と比較しながら原案作成作業を実施した。

次いで、ISO_18413(Hydraulic fluid power - Cleanliness of components - Inspection document and principles related to contaminant extraction and analysis, and data reporting)のJIS制定について、原案作成作業を行った。

最後に、今年度活動実績及び来年度活動計画について討議した。次年度は、継続でJIS_B9933の改正及びISO_18413のJIS制定を実施することとした。

次回開催：4月19日、機械振興会館+リモート

空気圧継手・チューブ分科会

日時 2月8日(火)、13:30~16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 浅里主査以下4名(うちリモート:4)

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、新規投票案件について審議し、ISO_16030：DIS 投票→賛成、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。

次いで、1/20開催されたISO/TC131/SC4/WG9 国際会議の報告があった。また、2/22開催予定の同会議のアジェンダについて情報共有した。

次いで、JIS_B8381-1改正について状況報告があった。また、JIS_B8381-2(空気圧用継手-第2部：熱可塑性樹脂チューブ用締込み継手)の改正について、内容を確認すると共に進め方について討議した。

最後に、今年度活動実績及び来年度活動計画について討議した。次年度は、継続でJIS_B8381-2の改正を実施することとした。

次回開催：5月24日、機械振興会館+リモート

空気圧エアドライヤ分科会

日時 2月10日(木)、13:30~16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 那須主査以下4名(うちリモート:4)

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、新規投票案件について審議し、ISO/SR_7183：定期見直し投票→継続、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。

次いで、エアドライヤのトラブルシューティングに関するガイドラインについて討議した。前回の討議内容を反映した原案について審議した。

最後に、今年度活動実績及び来年度活動計画について討議した。来年度のテーマとして、工業会規格の改正、エアドライヤの保守点検ガイドラインについて検討することとした。

次回開催：7月20日、機械振興会館+リモート

空気圧コンタミ分科会

日時 2月10日(木)、13:30~16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 田中主査以下3名(うちリモート:3)

事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/TC118/SC4/WG1 決議事項 117(案)に対する賛否→賛成、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。

次いで、10/13-14 開催の TC118/SC4/WG1 国際会議について報告があり情報共有した。

次いで、JIS_B8392-2 改正について状況報告があった。また、JIS_B8392-4 (圧縮空気-第4部: 固体粒子含有量の試験方法) の改正について、内容を確認すると共に進め方について討議した。

最後に、今年度活動実績及び来年度活動計画について討議した。来年度のテーマは、継続で JIS_B8392-4 の改正を実施することとした。

次回開催: 5月31日、機械振興会館+リモート

油空圧継手・ホース分科会

日 時 2月15日(火)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 岩崎主査以下6名(うちリモート:6)
事務局 前畑
議 事

委員の交代があり、日本ホース金具工業会: 小島研二委員から石附高委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/SR_12151-1: 定期見直し投票→継続、ISO/DIS_12151-2: DIS 投票→賛成、ISO/CD_1179-2 プロジェクトリーダー変更賛否→賛成、ISO/DIS_16028: DIS 投票→賛成、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。

次いで、JIS_B2355-2 (油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手-0 リングシールによるメートルねじポート及び継手端部-第2部: 高圧用(Sシリーズ) 継手端部-寸法・設計・試験方法・要求事項) の改正について、対応国際規格(ISO_6149-2) と比較しながら修正作業を行った。

最後に、今年度活動実績及び来年度活動計画について討議した。来年度テーマとして、引き続き JIS_B2355-2 の改正を実施することとした。

次回開催: 4月6日、機械振興会館+リモート

空気圧流量測定分科会

日 時 2月17日(木)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 妹尾主査以下9名(うちリモート:9)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、エネルギー効率規格化の Introduction に関するドラフト案に対する賛否→賛成、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。

次いで、11/17 及び 11/29 開催の ISO/TC131/SC9/WG2 国際会議の報告があった。

次いで、JIS_B8390-1 (空気圧-圧縮性流体用機器の流量特性試験方法-第1部: 通則及び定常流れ試験方法) の改正について、対応国際規格(ISO_6358-1) と比較しながら修正作業を行った。

最後に、今年度活動実績及び来年度活動計画について討議した。来年度テーマとしては、継続で JIS_B8390-1 の改正を実施することとした。

次回開催: 4月26日、機械振興会館+リモート

* ISO の動き

- 2022年4月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ている。
- 2022年の ISO/TC131 国際会議は、春季(5月): ウェブ会議、秋季(10月): 日本・姫路、で計画されている。

~~~~~  
技術調査事業  
~~~~~

IoT推進部会(第3回)

日 時 2月4日(金)、14:00~16:30
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 満嶋部会長以下14名(うちリモート:14)
事務局 藤原・前畑
議 事

第3回となる今回は、前回同様、講演を兼ねた会議として開催し、満嶋部会長(KYB)の進行により開会した。

最初に”チェックイン”と称し、会議参加のモチベーション向上の一環として、各委員から自己紹介を兼ねて今回の会議参加に当たり期待することを一言述べて頂いた。

次いで、IoT・AI 関係コンサルティング企業のブライトビジョン社: 増倉孝一様より、「IoT・AIの動向と製造業の活用事例」と題して、IoT・AI に関す

る社会動向、DXの流れ・キーテクノロジー、IoT・AIの技術動向と適用事例等について、ご講演頂いた。

その後、質疑応答という形で、意見交換・ディスカッションを行った。各委員からは、技術の共通化を図る事例を知りたい、IoT・AIの技術者不足を補う対策はないか、業界団体として標準化の観点からの取組みについてアドバイス頂きたい等、活発な意見交換・ディスカッションが行われた。

最後に”チェックアウト”と称し、会議冒頭の”チェックイン”に対する結果として各委員から今回の会議で得られた成果を一言述べて頂き、閉会とした。

次回は、これまで同様、講演会を中心とした部会とする予定である。



ウェブ会議の様子

技術委員会空気圧部会第587回特許分科会

日時 2月18日(金) 13:30 ~ 15:20

場所 Web会議

出席者 瀧幹事以下4名

事務局 吉田

議事

前回議事録確認後、公報の検討と無効理由調査について審議した。1件については調査を終了することとした。3件については引き続き調査をすることとした。1件について新たに調査を開始することとした。

次回開催：3月25日(金) Web会議

若手技術者懇談会(2021年度第2回目)

日時 2月25日(金) 13:00 ~ 17:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 兵藤部会長(油圧)

井川部会長(空気圧)

懇談会参加者 21名

事務局 大熊

本年度第2回目の若手技術者懇談会を実施した。今回も前回同様コロナ感染の影響により、やむなくリモート形式での開催となった。前回の懇談会は油圧・空気圧部会合同で実施した。懇談会終了後、各出席者へ合同開催の可否についてのアンケート調査を行った結果、合同開催で問題なしまたは合同開催希望という結果となり、今後は合同開催を行うことで各部会長により了承されたため、今回も油圧・空気圧部会合同での懇談会実施となった。参加応募者は24名であったが、当日は各諸事情により21名の参加となった。懇談会の実施状況は以下の通りである。

1. 開催の挨拶(兵藤部会長)
2. オムロン様による各種技術紹介説明及び質疑応答(オートメーションセンター品川)

振動制御

・ フライングトリガー

・ バラ積みピッキング

・ フレキシブルライン

・ 稼働管理

3. 技術者懇談会

参加者21名はまず5グループに分かれ『センサーの更なる活用法』についてディスカッションしてもらい、各グループのリーダー主体の元グループごとの意見をまとめていただいた。(Micro Soft Teams ブレークアウトルーム利用)その後を全体の懇談会にて各グループごとに、発表を行った。

4. 懇談会終了後の参加者のアンケート結果

アンケート調査結果より、オムロン様による各種技術紹介説明については、参加者全員が理解していた。ただし、紹介された技術に対して『期待していたものとちょっと違っていた』と思う人が20%程いた。

懇談会での発表については、85%の方が大体発表ができたと回答している。ただ、グループディスカッションの時間が45分ほどで、もっと長い時間話をしたかったとかという意見が多く、今後参考にしたい。

このアンケート結果については今後準備ができれば、工業会のHP(会員サイト)にて開示する予定です。

～～～～～～～～～～

中小企業関連事業

～～～～～～～～～～

2021 年度第一回中小企業委員会 WG

日 時 2月21日(月) 13:30 ～ 16:30

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

事務局 大熊

・講演会 『インドの最新概況(経済編, 生活編)』

講師 経済産業省 夏見様

(JETRO インド事務所(ベンガルール)駐在)

講演会の内容は 1 ページ目の通り

・中小企業委員会 WG

出席者 11 名

議 事

1. 各社状況へ報告

①. 各社における市場状況

②. 講演会及び意見交換会に対する感想

③. その他、提案事項等

2. 2022 年度の幹事

2022 年度の幹事は出席者全員の賛成により

下記の 2 名に決定

大生工業(株) 小泉様

(株)タカコ 奥嶋様

～～～～～～～～～～

工業会ニュース

～～～～～～～～～～

「特定技能外国人材制度に関する要望書」を経済産業大臣宛に、2月17日提出した。要望内容以下の通り。

フルードパワー産業は、流体（油圧、空気圧、水圧）を使った駆動装置及びその部品を製造する産業で、2021 年の国内産業規模は、約 9 千億円である。フルードパワーを使った機械装置として、油圧では、鉱山機械・建設機械、工作機械等非常に大きな力を必要とする機械の重要な機器として、また、空気圧は、工場の省エネ化のための自動化装置や半導体製造装置の主要部品等々広範囲に使われている。水圧は、オイル漏れ等がないために食品機械や看護関連機械等環境保全が求められる機械に導入されている。

これら装置を作成するには、良質の鋳物、精密で複雑な機械加工、長寿命で高品質のシール材、流体を制御する電磁制御装置、流体の温度を正確にコントロールするクーラー等素形材、機械加工、電子制

御等の技術が必要となっている。

当業界の工場には、工業高校、高等専門学校卒業生が多く配置されてきているが、十数年前から、このような学校からの受け入れが難しくなっており、従業員の高齢化と相まって、技能・技術の伝承も難しくなっており、フルードパワー産業の今後の発展にも懸念が出ている。

については、以下のとおり、特定技能外国人材制度の見直しについて要望する。

1. 特定技能外国人材制度の特定産業分野の見直し

人材不足を補うために、特定技能外国人材制度に依って外国人材を受け入れている企業においては、制度上の受入れ分野が製造 3 分野(素形材産業分野、産業機械製造業分野、電気・電子情報関連産業分野)毎に独立しているために、いずれに該当するかを選択して手続を行うことが求められ、その煩雑さと管理に非常に負担がかかる。これに加えて、実際の現場では、特定技能外国人材制度の分類上、素形材産業分野と産業機械製造分野の両方の製造や加工をこなしていることも多く、これらの業務に外国人材に従事させる際に、最初に手続を行った分野以外の分野でも手続を取り直さなければならないケースもあり、中小企業の現場をはじめとして、手続き面でのハードルが非常に高い制度となってしまう。

よって、当業界の実態に合わせて、製造分野の 3 分野の統合を強く要望する。

2. 入会手続きの効率化

製造業で特定技能外国人材を受け入れるためには、申請事業者が当該業務について日本標準産業分類の該当箇所を示し、その分野毎に「製造業特定技能外国人材受入れ協議・連絡会」に入会することが必要であるが、事業者は、ひとつの事業所内で産業機械と素形材など複数分野にまたがる事業を営んでいることが多く、いずれの分野・標準産業分類に該当するかを特定することには相応の負担がかかるのが現状である。このため、実状に合わせた 3 分野統合した入会手続きとされたい。

3. 安心できる受入制度の運用改善

外国人の入国停止・厳格化に伴い、技能実習生の海外からの新規受入れが止まっている中で、特定技能外国人材の活用は、産業界の成長に不可欠なものになっている。しかしながら、現在、産業機械分野での受入れ人数は、制度開始時点の想定よりも急激

に増加しており、受入れ数が、上限に達した場合、産業機械分野での受入れができなくなる懸念があり、もし受入れ停止の事態になった場合、中小企業サプライヤーをはじめとした大きな混乱が予測できる。我が国全体での受入れ数増加が難しいとしても、当面の間は受入れの継続を認める弾力的な運用を講じていただきたい。

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

☆4月22日(金)第93回理事会・懇親会
(時 間) 15:30~16:50:理事会
17:00~19:00:懇親会
(場 所) ザ・プリンスさくらタワー
東京(品川)

☆5月19日(木)第23回定時総会・懇親会
(時 間) 15:30~16:50:定時総会
17:00~19:00:懇親会
(場 所) 東京プリンスホテル(芝公園)

☆5月20日(金)第60回JFPA懇親ゴルフ会
(場 所) 横浜カントリークラブ

~~~~~

2月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~

(標準化事業)

空気圧制御技術分科会

開催日 2月1日(火)

主 査 渡辺敏之(TAIYO)

委 員 金子幸夫(コガネイ)

油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 2月3日(木)

出席者

主 査 難波竹己(日本ポール)

委 員 遠藤剛(SMC)

〃 水落桂(大生工業)

〃 菊地大輔(東京計器)

〃 長谷川康憲(油研工業)

〃 三好真介(MORESCO)

空気圧継手・チューブ分科会

開催日 2月8日(火)

出席者

主 査 浅里信之(ニッタ)

委 員 高梨暁人(SMC)

〃 大場良太郎(コガネイ)

〃 細谷映之(アオイ)

空気圧エアドライヤ分科会

開催日 2月10日(木)

出席者

主 査 那須一文(SMC)

委 員 竹内則久(オリオン機械)

〃 花澤一吉(CKD)

〃 小山壽士(日本精器)

空気圧コンタミ分科会

開催日 2月10日(火)

出席者

主 査 田中崇行(SMC)

委 員 藤原輝彦(コガネイ)

〃 大嶽康行(CKD)

油空圧継手・ホース分科会

開催日 2月15日(火)

出席者

主 査 岩崎宏文(イハラサイエンス)

委 員 小山修平(ニッタ)

〃 辻田智(日東工器)

〃 石井克昌(横浜ゴム)

〃 石附高(日本ホース金具工業会)

〃 横岡慎吾(ブリヂストン)

空気圧流量測定分科会

開催日 2月17日(木)

出席者

主 査 妹尾満(SMC)

委 員 川端啓之(アズビルTACO)

〃 森本光一(コガネイ)

〃 大竹崇(CKD)

〃 水上秀彦(TAIYO)

〃 浅里信之(ニッタ)

〃 高沢清継(日本ピスコ)

〃 香川利春(東京工業大学)

〃 眞田一志(横浜国立大学)

(技術調査事業)

I o T推進部会 (第3回)

開催日 2月4日(金)

出席者

部会長 満嶋弘二 (KYB)

委員 園部達郎 (ASK)

〃 石井哲也 (川崎重工業)

〃 谷田部隆史 (KYB)

〃 高橋和弘 (KYB)

〃 鶴賀寿和 (CKD)

〃 萩原正悟 (住友精密工業)

〃 小杉文人 (東京計器)

〃 渡邊克也 (日本ムーグ)

〃 増野浩二 (日本ムーグ)

〃 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)

〃 永野卓 (油研工業)

〃 小野篤志 (ヨコタ工業)

講演者 増倉孝一 (ブライトビジョン)

〃 土屋貴寛 (SMC)

〃 横山 慧 (オリオン機械)

〃 市山和明 (アズビルTACO)

〃 大島章義 (アズビルTACO)

〃 松野隆広 (甲南電機)

(中小企業関連事業)

中小企業委員会 WG (2021年度第一回)

日時 2月21日(月)

幹事 風間英朗 (日本アキュムレータ)

幹事 山崎真人 (廣瀬バルブ工業)

委員 舘 満正 (神威産業)

〃 高野和治 (光陽精機)

〃 小泉加奈子 (大生工業)

〃 松岡 勉 (タカコ)

〃 奥嶋一輝 (タカコ)

〃 足立琢哉 (南武)

〃 佐久間 信 (マツイ)

〃 保坂淳一 (理研精機)

技術委員会空気圧部会第587回特許分科会

開催日 2月18日(金)

出席者

幹事 瀧 芳久 (CKD)

委員 井野雅康 (SMC)

〃 安田善仁 (甲南電機)

〃 今野英俊 (コガネイ)

若手技術者懇談会(2021年度第2回目)

日時 2月25日(金)

部会長 兵藤訓一 (東京計器)

部会長 井川 彰 (CKD)

参加者 今村亮介 (ダイキン工業)

〃 岸 祐哉 (ダイキン工業)

〃 野口陽生 (ダイキン工業)

〃 瀧本佳史 (日立建機)

〃 曾布川栄太郎 (日立建機)

〃 野崎紘亮 (油研工業)

〃 平野峻之 (廣瀬バルブ工業)

〃 山田教巨 (CKD)

〃 針山信二郎 (CKD)

〃 田中康介 (CKD)

〃 小松綾子 (CKD)

〃 杉山結衣 (CKD)

〃 村瀬広之 (CKD)

〃 荒木 翼 (SMC)

〃 上瀬雄太 (SMC)

〃 内藤大希 (SMC)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<2月>

1日(火)

・標準化(委)空気圧制御技術分科会

3日(木)

・標準化(委)油圧フィルタ・作動油分科会

4日(金)

・技術(委)I o T推進部会

8日(火)

・標準化(委)空気圧継手・チューブ分科会

10日(木)

・標準化(委)空気圧エアドライヤ分科会

・標準化(委)空気圧コンタミ分科会

15日(火)

・標準化(委)油空圧継手・ホース分科会

17日(木)

・標準化(委)空気圧流量測定分科会

18日(金)

・技術(委)空気圧部会第587回特許分科会

21日(月)

・中小企業委員会WG

25日(金)

・若手技術者懇談会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
